

東京電力（株）福島第一原子力発電所事故に関する 技術ワークショップ



写真：東京電力ホームページより

開催概要

日程 2012年7月23日（月）～24日（火）

場所 経済産業省 本館（地下2F 講堂）、別館（11F 1120 共用会議室）

会議要旨

東京電力㈱福島第一原子力発電所については、昨年12月、「事故の収束に向けた道筋」におけるステップ2を終了し、原子炉は十分に冷却されたことに加え、当該プラントが敷地外に与える放射線の影響は十分小さく抑えられている状況となりました。現在、確実に安定状態を維持する取組を行うとともに、1～4号機の使用済燃料プールからの燃料の取り出し、1～3号機の原子炉圧力容器及び原子炉格納容器からの燃料デブリの取り出し等の廃止措置に向けて必要な措置を進めているところです。中長期的な対策の立案及び安全対策を講ずる際の参考とするため、できる限り現実的な事故状況、現在の状況を推定することが必要となっております。

このため、昨年11月には技術ワークショップを開催し、数値計算シミュレーションなどを用いて炉心損傷状況の推定を試み、技術的検討を専門家間で行いました。また、推定精度を高めるための検討を継続的に行うこととしていました。

今回、新たなシミュレーション結果、事故現場の調査結果等を踏まえて、事故時の状況、現在の状況、今後の取組について、技術的検討を専門家間で行います。今後とも技術的検討を継続するとともに、検討結果はIAEA等を通じて発信し国際的議論も行っていきます。

参加機関

経済産業省、環境省、内閣府、東京電力、JNES、JAEA、東芝、日立 GE、鹿島建設、電中研、JAMSTEC、IAEA、米国NRC

受付

場所 経済産業省 本館 1F 正面玄関

時間 7月23日(月) 9:00～

7月24日(火) 8:45～

(傍聴するには、経産省 HP から、事前の傍聴登録が必要です。)

経済産業省本館の案内

所在地 〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1

交通 営団地下鉄 丸の内線・日比谷線・千代田線
霞が関駅 A12 出口



問い合わせ先

原子力安全・保安院

原子力安全技術基盤課

TEL 03-3501-0621 成田、小林

東京電力（株）福島第一原子力発電所事故に関する技術ワークショップ

セッション一覧

		会場 A : 本館地下 2F 講堂 (収容人数 : 315 名)	会場 B : 別館 11 階 1120 会議室 (収容人数 : 160 名)	
7/23 (月)	AM	10:00 オープニング 開会の挨拶	/	
		10:10 セッション AM-1 事件事象分析 (1)		
	PM	13:00 セッション AM-2 事件事象分析 (2)		13:00 セッション BM-1 オフサイト・ステータス
		15:00 セッション AM-3 放出量評価		14:30 セッション BM-2 現状のプラント状況・対策 実施状況
7/24 (火)	AM	9:30 セッション AT-4 地震、津波	/	
	PM	13:00 セッション AT-5 格納容器からの液相漏洩		12:00 セッション BT-3 4 号機使用済燃料プール
		15:00 セッション AT-6 事故からの教訓		
		16:00 セッション AT-7 パネル・ディスカッション	/	
		17:30 セッション AT-8 総括		

プログラム

7/23 (月) 10:00

オープニング

会場: A (収容人数 : 315 名)

開会の挨拶

安井 正也 (NISA)

7/23(月) 10:10

セッション AM-1 事故事象分析 (1)

司会 : 山形 浩史 (NISA)

会場: A (収容人数 : 315 名)

1. **MAAP** による 1~3 号機の事故シーケンスの詳細解析について
溝上 伸也 (東京電力)
2. **MELCOR** による 1~3 号機の事故シーケンスの解析について
星 陽崇 (JNES)
3. **THALES2** コードによる事故進展解析
石川 淳 (JAEA)

7/23 (月) 13:00

セッション AM-2 事故事象分析 (2)

司会 : 山形 浩史 (NISA)

会場: A (収容人数 : 315 名)

1. **1F 事故事象**に曝された原子炉格納容器のリークポテンシャルの検討
肱岡 康雄 (東芝)
2. 配管微小リーク仮定時の原子炉水位と格納容器の圧力・温度の解析について
小西 秀雄/堀田 亮年 (JNES)

3. レベル1PSAのイベントツリーを用いた事故シーケンスの分析

伊東 智道 (JNES)

4. 溶融燃料によるコンクリートの侵食深さの解析

川部 隆平 (JNES)

7/23(月) 15:00

セッション AM-3 放出量評価

司会：本間 俊充 (JAEA)

会場: A (収容人数：315名)

1. MELCORによるソースターム解析

星 陽崇 (JNES)

2. 福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の放出量の推定について

白木 洋也 (東京電力)

3. ^{131}I 及び ^{137}Cs の大気放出推移の推定

茅野 政道 (JAEA)

4. 領域海洋モデルを用いた海洋への放出量の推定

津旨 大輔 (電中研)

5. 福島第一原子力発電所からの海洋へのセシウム 137 直接漏洩量の推定

宮澤 泰正 (JAMSTEC)

7/23(月) 13:00

セッション BM-1 オフサイト・ステータス

司会：金城 慎司 (NISA)

会場: B (収容人数：160名)

1. 避難区域の設定と見直し

西田 光宏 (内閣府)

2. 除染の進捗状況について

牧谷 邦昭 (環境省)

3. 除染モデル実証事業の結果概要について

宮原 要 (JAEA)

7/23 (月) 14:30

セッション **BM-2** 現状のプラント状況・対策実施状況

司会：金城 慎司 (NISA)

会場: B (収容人数：160名)

1. 福島第一原子力発電所の全体の状況について

岩井 明彦 (東京電力)

2. 廃止措置等に向けた中長期ロードマップ及び研究開発計画について

岩井 明彦 (東京電力)

3. 雰囲気ガス測定結果に基づく原子炉格納容器内の状況について

山内 景介 (東京電力)

4. 2号機の格納容器雰囲気中キセノン濃度についての評価

山本 敏久 (JNES)

5. 1～4号機使用済燃料プールからの燃料取出の取り組み状況について

徳森 律朗 (東京電力)

7/24 (火) 9:30

セッション **AT-4** 地震、津波

司会：堀野 知志 (JNES)

会場: A (収容人数：315名)

1. 発電所における地震観測記録と強震動シミュレーション

西村 功 (東京電力)

2. 発電所における津波の調査および広域再現解析

谷 智之 (東京電力)

3. 確率論的津波評価に基づく設計基準津波の作成に係る JNES モデルの検討

杉野 英治 (JNES)

4. 東北太平洋沖地震後の福島第一原子力発電所について
～福島第一 1～3 号機が受けた地震動の影響～
清浦 英明 (東京電力)

7/24 (火) 13:00

セッション AT-5 格納容器からの液相漏洩 司会：山形 浩史 (NISA)

会場: A (収容人数 : 315 名)

1. 格納容器内部調査結果及び漏洩経路の特定に向けた調査計画
桑原 浩久 (東京電力)
2. プラント状態把握のための各種アプローチについて
溝上 伸也 (東京電力)
3. 窒素封入時の圧力データに基づく格納容器内の状態の推定
市川 涼子 (JNES)

7/24 (火) 15:00

セッション AT-6 事故からの教訓 司会：山形 浩史 (NISA)

会場: A (収容人数 : 315 名)

1. 新たな原子力規制組織と法体系
久米 孝 (内閣官房 原子力安全規制組織等改革準備室)
2. シビアアクシデント対策規制の基本的考え方に関する議論
山形 浩史 (NISA)

7/24 (火) 12:00

セッション BT-3 4号機使用済燃料プール 司会：森本 興 (エネ庁)

会場: B (収容人数 : 160 名)

1. **4号機原子炉建屋爆発の原因調査**
西野 正一郎 (東京電力)
2. **水素爆発に関する課題の検討**
荻野 正男 (JNES)
3. **使用済燃料プールの健全性について**
大浦 勝 (東京電力)
4. **使用済み燃料プールLOCA時の燃料健全性解析**
荻野 正男 (JNES)
5. **使用済み燃料プールの健全性について**
松尾 一平 (鹿島建設)
6. **使用済み燃料プールの耐震健全性について**
井上 博登 (JNES)
7. **Fukushima Lessons Learned : Spent Fuel Pools**
Matthew Mitchell (NRC)
8. **Safety of spent fuel pool**
Ayhan Altinyollar (IAEA)

7/24 (火) 16:00

セッション AT-7 パネル・ディスカッション

モデレータ：平野 雅司 (JNES)

会場: A (収容人数：315名)

現象解明の現状と今後の取り組み

パネリスト 岩井 明彦 (東京電力)
桑原 浩久 (東京電力)
星 陽崇 (JNES)
堀野 知志 (JNES)
本間 俊充 (JAEA)
Matthew Mitchell (NRC)

7/24 (火) 17:30

セッション AT-8 総括

会場: A (収容人数: 315名)

ワークショップの総括